



熊谷雄一市長（中央）に大会での好成績を報告した  
自転車競技部の選手ら

## 全日本大学対抗選手権に出場 八学大自転車競技部が好成績

### 女子スプリント嵯峨選手V

#### チームスプリントは準優勝

#### 八戸

8月に千葉県で行われた第81回全日本大学対抗選手権で八戸学院大自転車競技部が好成績を残した。15日、選手らが八戸市庁に熊谷雄一市長を訪ね、喜びを報告するとともに、今後の抱負を語った。

選手権では女子スプリントで3年の嵯峨希来選手が優勝したほか、2年の室谷優音選手、1年の江戸優選手との3人で出場した女子チームスプリントでも1位と僅差の準優勝に輝いた。

市庁には3選手と三浦康高監督が訪問。室谷選手は「3人ですべて準優勝できてうれしかった」、江戸選手は「緊張したが、2人にしっかり合わせてレースができた」と語った。

キャプテンとしてチームを支えた嵯峨選手は「個人での優勝より、チームで準優勝できたことがうれしい。みんな頑張った」と笑顔を見せ、「全員が上を目指せるようなチームづくりをしていきたい」と意気込んだ。

熊谷市長は八戸地域の練習環境などに触れ「自転車王国の復活を目指して」と今後の活躍に期待を寄せた。

（中山瑞希）